

日系進出企業の動向

シハヌークビル港経済特区のご紹介

2018年2月

カンボジア投資フォーラム

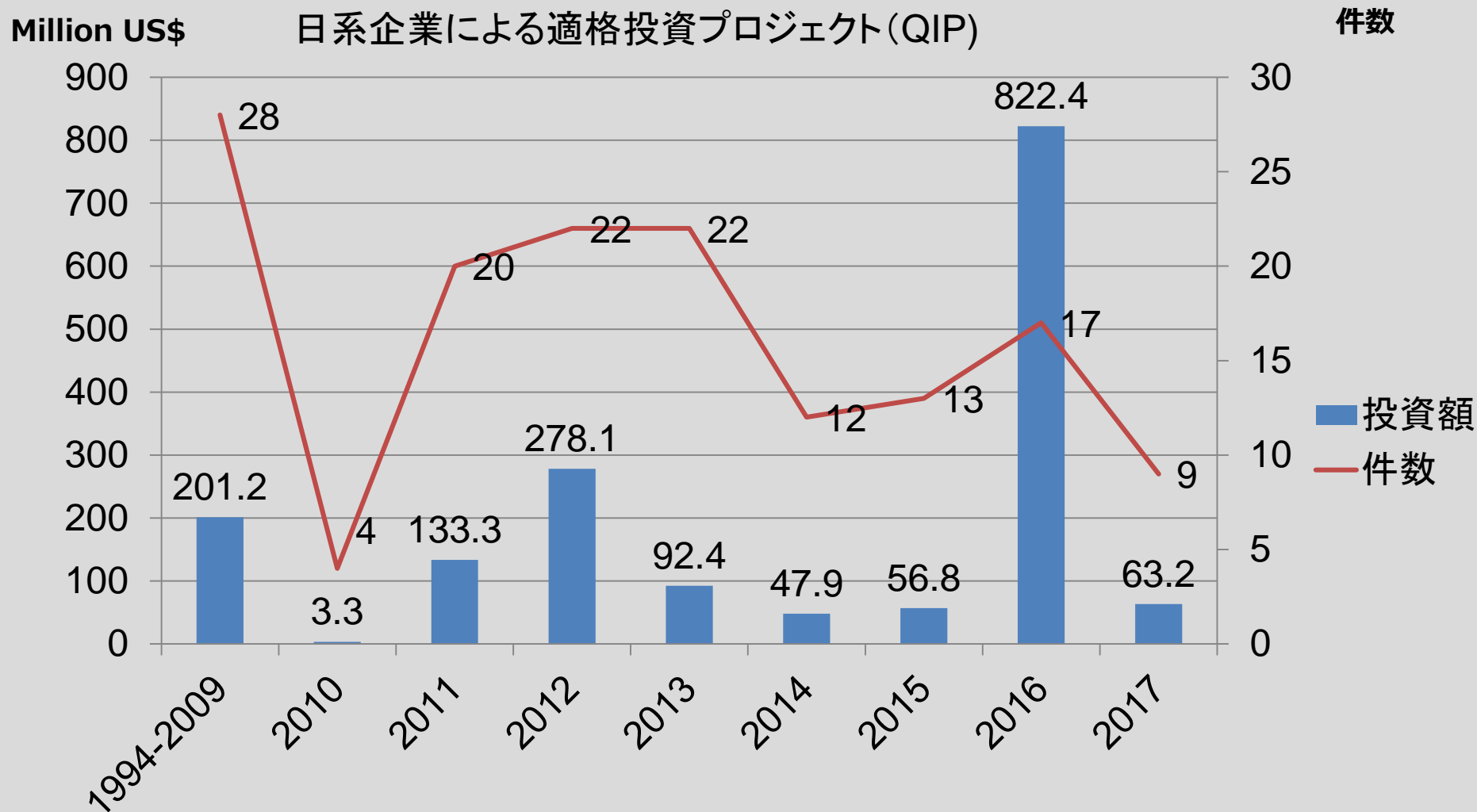
JICAカンボジア事務所



本日のご説明内容

- カンボジアへの日系企業進出概況
- カンボジアの課題とJICAの取り組み
- CDCジャパンデスクのご紹介
- シハヌークビル港経済特区のご紹介

日系企業投資の推移



Source: CDC

2016 - 2017 内需型とASEAN域内分業がけん引

投資認可日	会社名	業種	立地
2016.1	Techno Park Poi Pet Co., Ltd.	自動車関連部品製造等	サンコーSEZ
2016.1	Empire Angkor Import & Export Co., Ltd.	縫製業	シェムリアップ
2016.1	Mitsuyoshi & T.A.G Co., Ltd.	家具製造	プノンペン
2016.2	Starts Hotel (Cambodia) Corporation.	ホテル	プノンペン
2016.4	Koiwa Bond (Cambodia) Co.,Ltd.	自動車シート製造	サンコーSEZ
2016.4	AEON MALL (Cambodia) Co., Ltd.	ショッピングモール	プノンペン
2016.4	Monopia (Cambodia) Co., Ltd.	バッグ製造	コンポンスプー
2016.5	Murata(Cambodia)Co.,Ltd	アパレル副資材製造	サンシェルSEZ
2016.7	Sumitronics Manufacturing (Cambodia)Co.,Ltd	電子デバイス等製造	サンコーSEZ
2016.7	Nisshoku(Cambodia)Co.,Ltd	健康食品製造	プノンペンSEZ
2016.7	A 2 A Town (Cambodia) Co., Ltd.	観光開発（ホテル、野菜農園等）	キリロム
2016.8	Nissey(Cambodia) Metal Co.,Ltd	時計部品製造	ドラゴンキングSEZ
2016.8	Masakatsu Kouzai(Cambodia) Co.,Ltd	スチール加工	プノンペンSEZ
2016.10	Ring(Cambodia) Co.,Ltd	電子部品等製造	プノンペンSEZ
2016.10	Yamato Printing(Cambodia) Co., Ltd.	紙製品製造	プノンペンSEZ
2016.12	Exedy Poipet Co., Ltd	自動車関連部品製造	サンコーSEZ
2016.12	Arix (Cambodia) CO.,LTD.	食品加工	ポーサット

2016年Total投資額: 822,408,532 USD

Source: CDC

2016 - 2017 内需型とASEAN域内分業がけん引

投資認可日	会社名	業種	立地
2017.1	Mabuchi (Cambodia) Co., Ltd.	鉄製品	サンコーSEZ
2017.3	Sanko Electronics (Cambodia) Co.,Ltd.	電子部品	サンコーSEZ
2017.7	Shinohara (Phnom Penh) Co., Ltd.	化粧品	プノンペンSEZ
2017.8	J'S Factory (Cambodia) Co., Ltd.	食品加工	プノンペンSEZ
2017.9	Sansho Clothing (Cambodia) Co., Ltd.	縫製業	プノンペン
2017.10	Sound 868 Co., Ltd.	縫製業	タイセンSEZ
2017.10	Sankyo Radiator (Cambodia) Co., Ltd.	自動車関連部品	プノンペンSEZ
2017.11	Minebea (Cambodia) Co., Ltd.	電子部品等	プノンペンSEZ
2017.11	Denso (Cambodia) Co., Ltd.	自動車関連部品	プノンペンSEZ

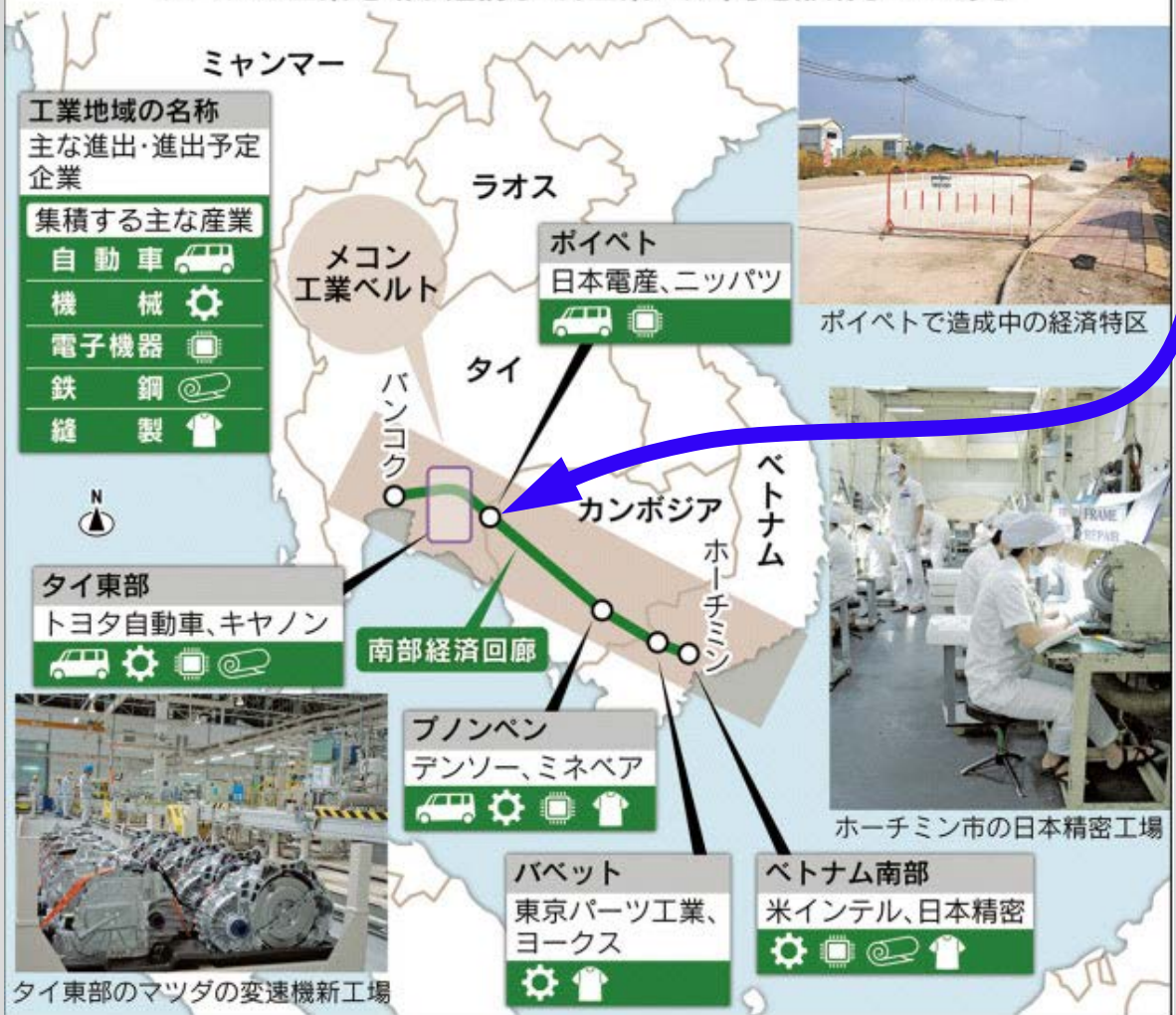
ミネベア、デンソーは工場増設に係る投資認可を受け、2つ目となるQIPを取得

Source: CDC

2017年Total投資額: 63,165,164USD

自動車関連・電子部品 域内分業の動き

メコンの工業地域が連携して「工業ベルト」を形成しつつある



タイプラスワン
本格始動

- 豊田通商が2016年にテクノパークを開業
- PPSEZがポイペトに新たなSEZを2018年に開業
- 日本電産は1000人超の労働者を雇用

図：日本経済新聞より抜粋

内需型投資も拡大 高まる日本品質へのニーズ



サンライズジャ
パンホスピタル
(2016年開業)



スターツホテル
(2018年開業予定)



イオンモール2号店
(2018年開業予定)

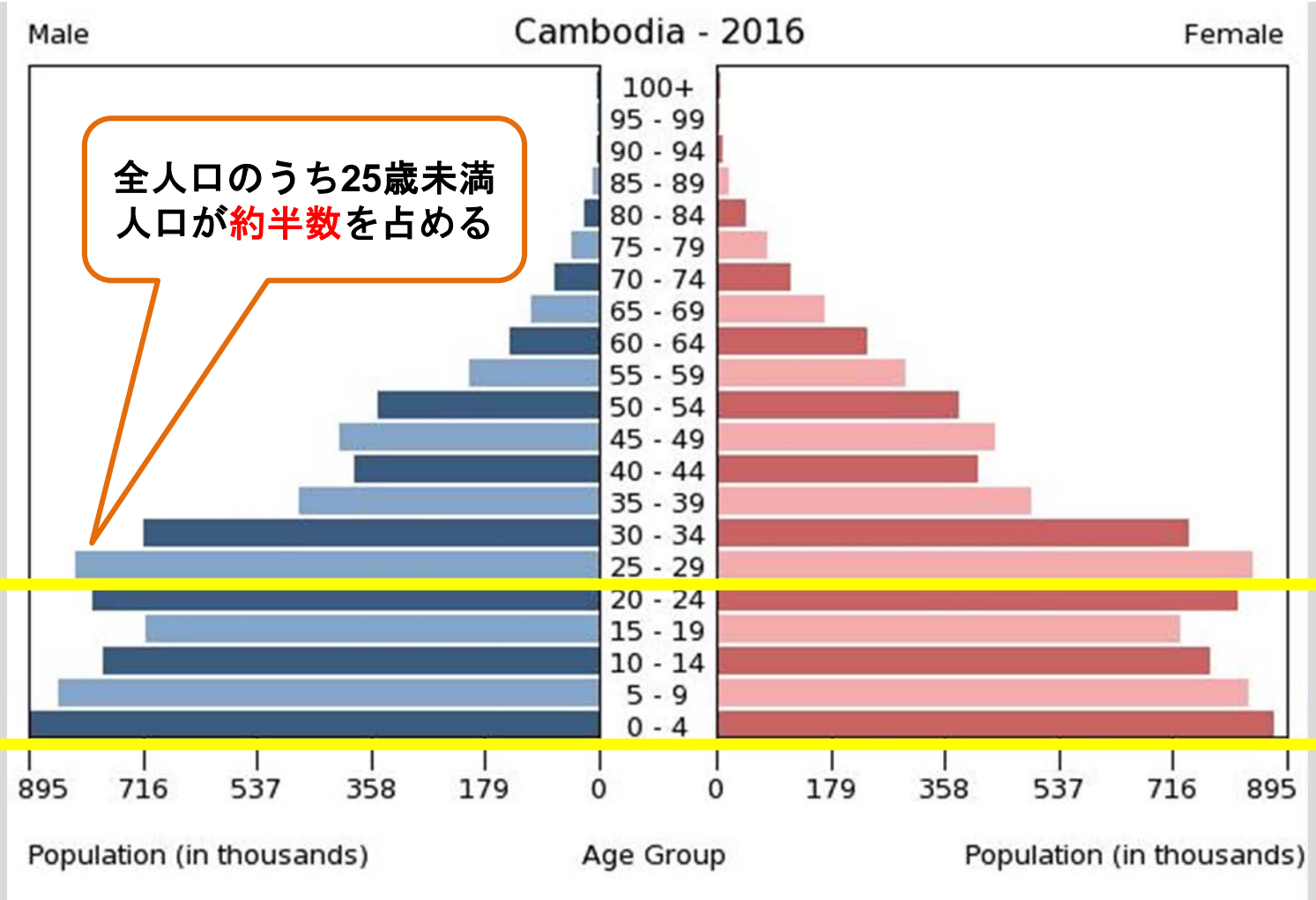


ワールドトレードセンター
ポンペン
(2018年投資申請予定)

金融・サービス業の進出も

- ・ みずほ銀行が出張所開設 (2017)
- ・ 三菱UFJ銀行がマイクロファイナンス買収 (2016)
- ・ 第一生命、日本生命、東京海上保険各社が進出 (2016-2017)
- ・ 三井物産が携帯キャリアに出資 (2017)

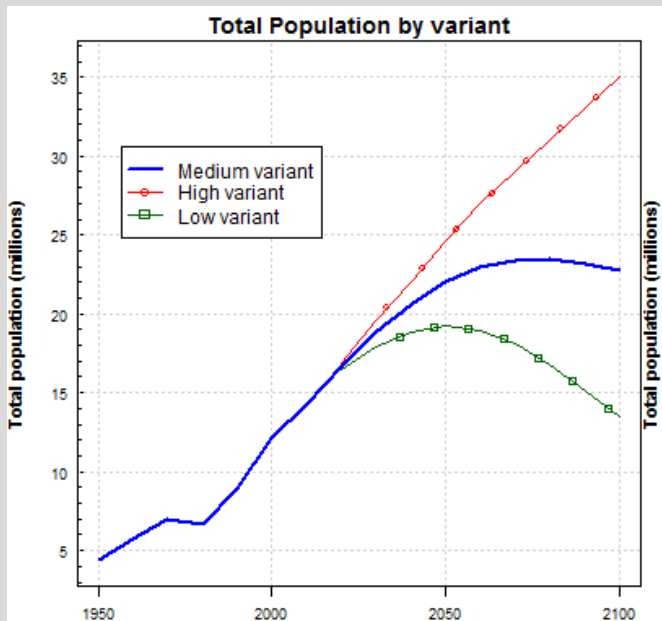
人口統計 増加が見込まれる就業人口



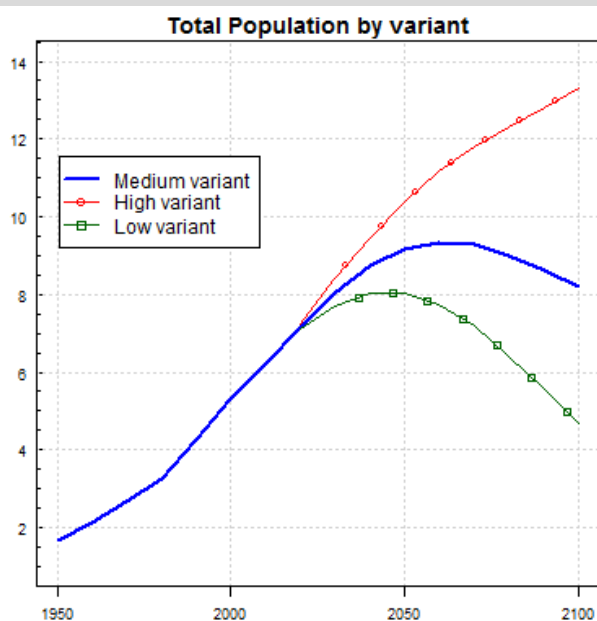
Source: CIA World Fact Book 2016

人口推計 ピークはミャンマーの約20年後

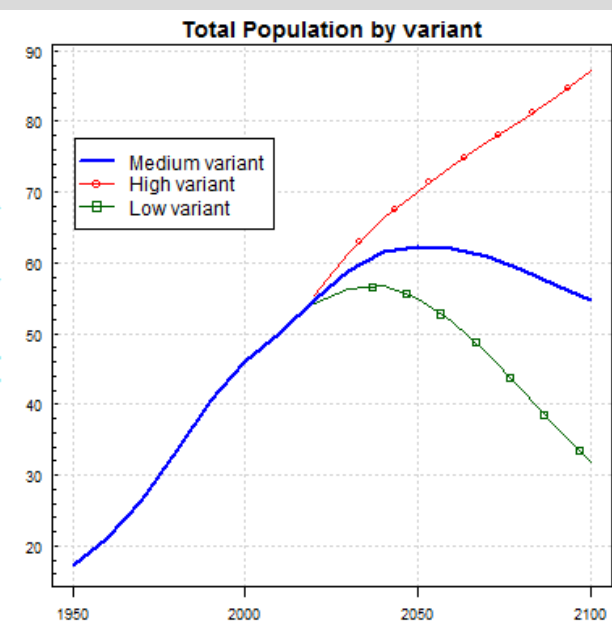
Cambodia



Laos



Myanmar



Source : UN World Population Prospects 2017

カンボジアにおける主な課題とJICAによる支援

■ 物流インフラ

通関手続関連コスト等、物流の費用が高い。不十分な国道、港湾施設

■ 人材教育

初等教育・しつけの不足
マネージメント層の薄さ

■ 電カインフラ

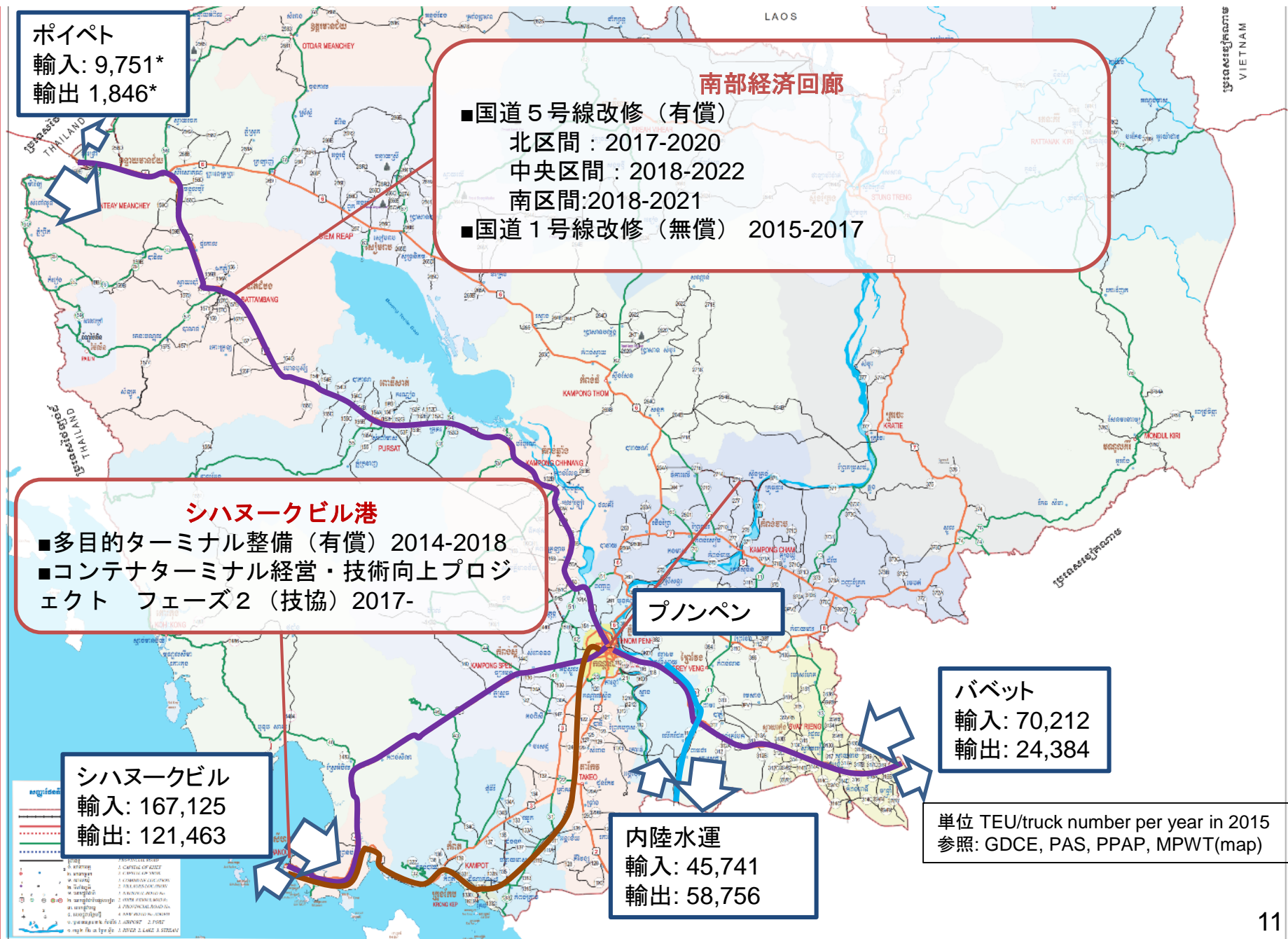
地域によっては電力不足で不安定。
電力料金は高い

JICAによる支援

- 物流マスタープラン策定
- 物流改善プロジェクト
- 港湾EDI導入
- 国道5号線整備
- シハヌークビル港整備

- 教員養成改革支援を通じた基礎教育改善
- ITCを軸にした工学教育に関する大学間連携
- 電力計画アドバイザー
- ポイペト、コッコン等での南部経済回廊配電網整備

物流改善への取り組み（実施中・合意済プロジェクト）



物流改善への取り組み - 今後の支援展望

2017 - 2018

2019 - 2021

2022 -

国道5号線改修

PP - Bavet 高速道

PP 都市鉄道

SHV港新コンテナターミナル整備

物流システム改善プロジェクト

国家物流委員会運営支援

物流改善施策の実施

(e.g. 国境オペレーション改善、非公式コスト削減、輸出入手続き合理化、PP,SHV物流ハブ形成)

PP交通マネジメント改善

港湾EDI導入

ナショナルシングルウィンドウ構築

有償

無償

技協

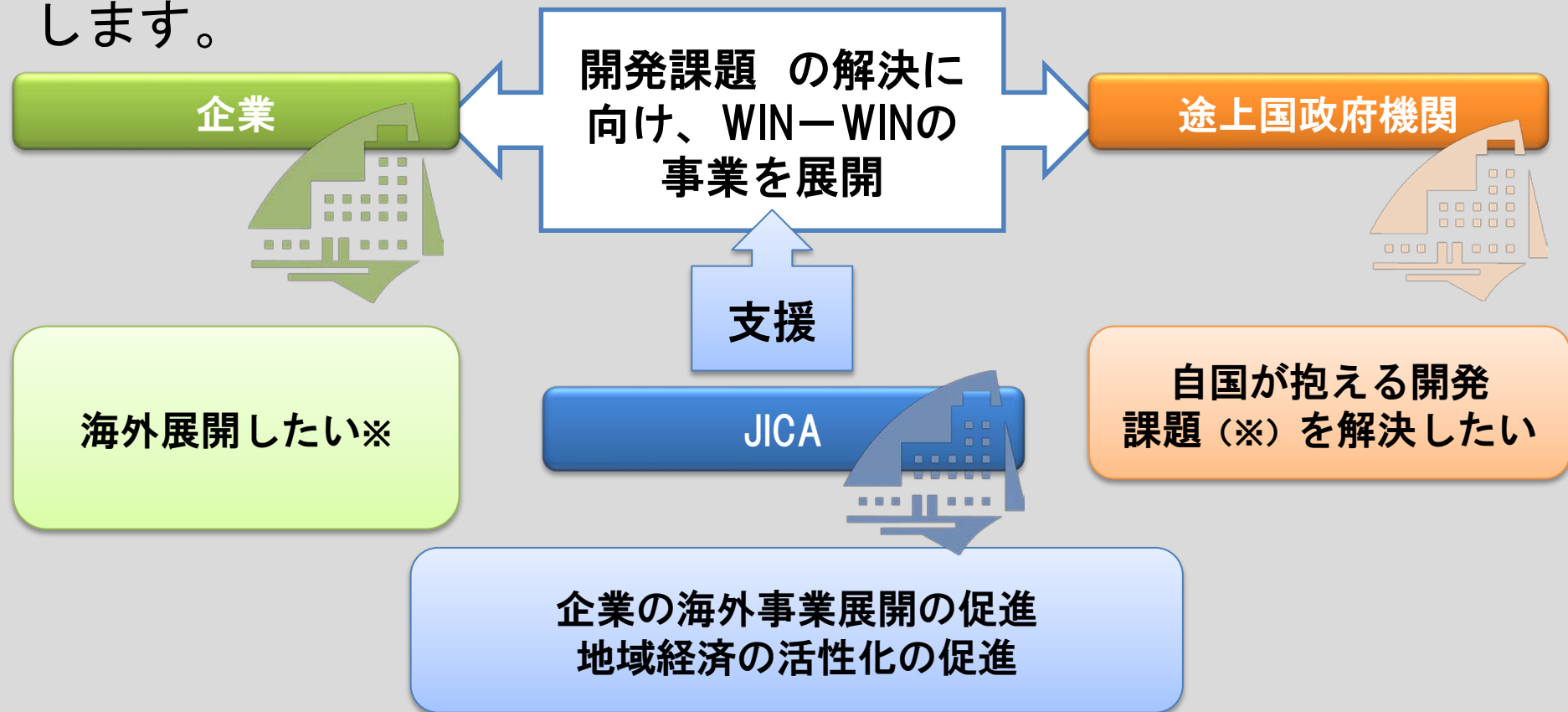
ハードインフラ

ソフトインフラ

物流マスタープラン策定

JICAの民間連携事業 海外進出を後押し

途上国の開発ニーズと企業の製品・技術のマッチングを支援します。



各支援スキーム一覧

スキーム名	事業経費	期間	対象者	目的
基礎調査	850万円	数ヶ月～1年程度	中小企業、中小企業団体の一部組合	中小企業等からの提案に基づき、開発途上国の課題解決に貢献する中小企業の海外事業に必要な基礎情報の収集と、事業計画の策定を目的とするもの。
案件化調査	3,000万円又は5,000万円	数ヶ月～1年程度	中小企業、中小企業団体の一部組合	中小企業等からの提案に基づき、技術・製品等を途上国の開発へ活用する可能性を検討することを目的とするもの。
途上国の課題解決型ビジネス（SDGsビジネス）調査（旧：協力準備調査（BOPビジネス連携促進））	5,000万円	最大3年	SDGsビジネスの実施を検討する本邦登記法人	途上国における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するビジネス（SDGsビジネス）の事業化に向けて、ビジネスモデルの策定や事業計画の作成、並びにJICA事業との協働可能性について検討・確認を行うもの。
普及・実証事業	1億円 1.5億円	1～3年	中小企業、中小企業団体の一部組合	中小企業からの提案に基づき、途上国の開発への技術・製品等の現地適合性を高めるための実証活動を通じ、その普及方法を検討することを目的とするもの。 （相手国実施機関は公的機関に限定）

各支援スキーム一覧

スキーム名	事業経費	期間	対象者	目的
開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業	2,000万円	最大2年	本邦登記法人	開発途上国の政府関係者を主な対象とする本邦での研修や現地でのセミナー等を通じて、日本企業が持つ優れた製品、技術、システム等への理解を促すと共に、開発への活用可能性検討を行うことを目的とするもの。 (主たる相手国実施機関は公的機関であること)
草の根技術協力事業 (地域活性化特別枠)	6,000万円	3年以内	地方公共団体 (実施は地方公共団体が推薦する団体でも可)	地方自治体、地域経済団体、大学及び企業が有する技術・経験を活用し、途上国に貢献する事業を支援するもの。途上国の様々な需要・ニーズを日本各地のリソースと結びつけ、国際化を支援することで地域の活性化も促進する。
民間連携ボランティア	—	原則1～2年 (3か月以上の短期も可)	株式会社(特例有限会社含)または持分会社(合同会社、合資会社、合名会社)	各企業のニーズに合わせ、受入れ国や要請内容、職種、派遣期間等をカスタマイズ可能。今後、事業展開を検討している国等へ派遣し、活動を通じて、現地語、文化、商習慣、技術レベル、各種ニーズ等を把握したり、ネットワークを作ったりするもの。

CDC ジャパンデスクのご案内

- 日系企業向けに投資環境情報を発信、新規投資の相談受付
- 4月より、JICAとJETROで協力し、ジャパンデスク相談体制を拡充
 - 事前申し込みがあれば、CDC本部にてCDC、JICA、JETROの3者でコンサルテーションを提供します。



連絡先: JICA企画調査員(民間連携担当)
安原 (Yasuhara.Hiroto@jica.go.jp)

【カンボジア投資関連情報】

<http://www.jica.go.jp/cambodia/office/information/investment/index.html>

(投資ガイドブック、物流調査、産業人材等報告書)

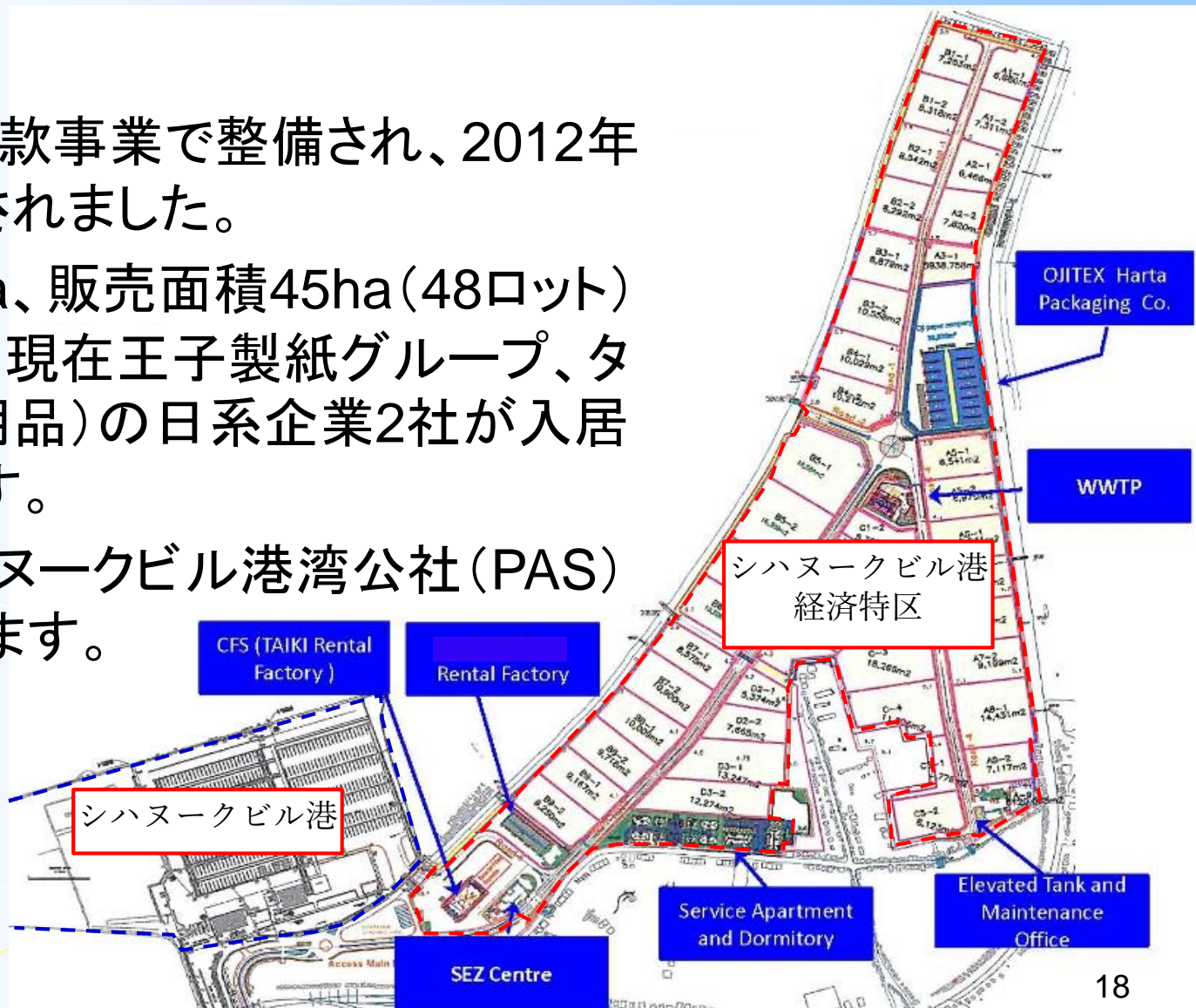


シハヌークビル港経済特区 のご紹介

シハヌークビル港経済特区 (SPSEZ)

事業概要

- 日本の円借款事業で整備され、2012年5月に開所されました。
- 総面積70ha、販売面積45ha(48ロット)を有します。現在王子製紙グループ、タイキ(化粧用品)の日系企業2社が入居されています。
- 運営はシハヌークビル港湾公社(PAS)が行っています。



シアンークビル港経済特区 (SPSEZ)

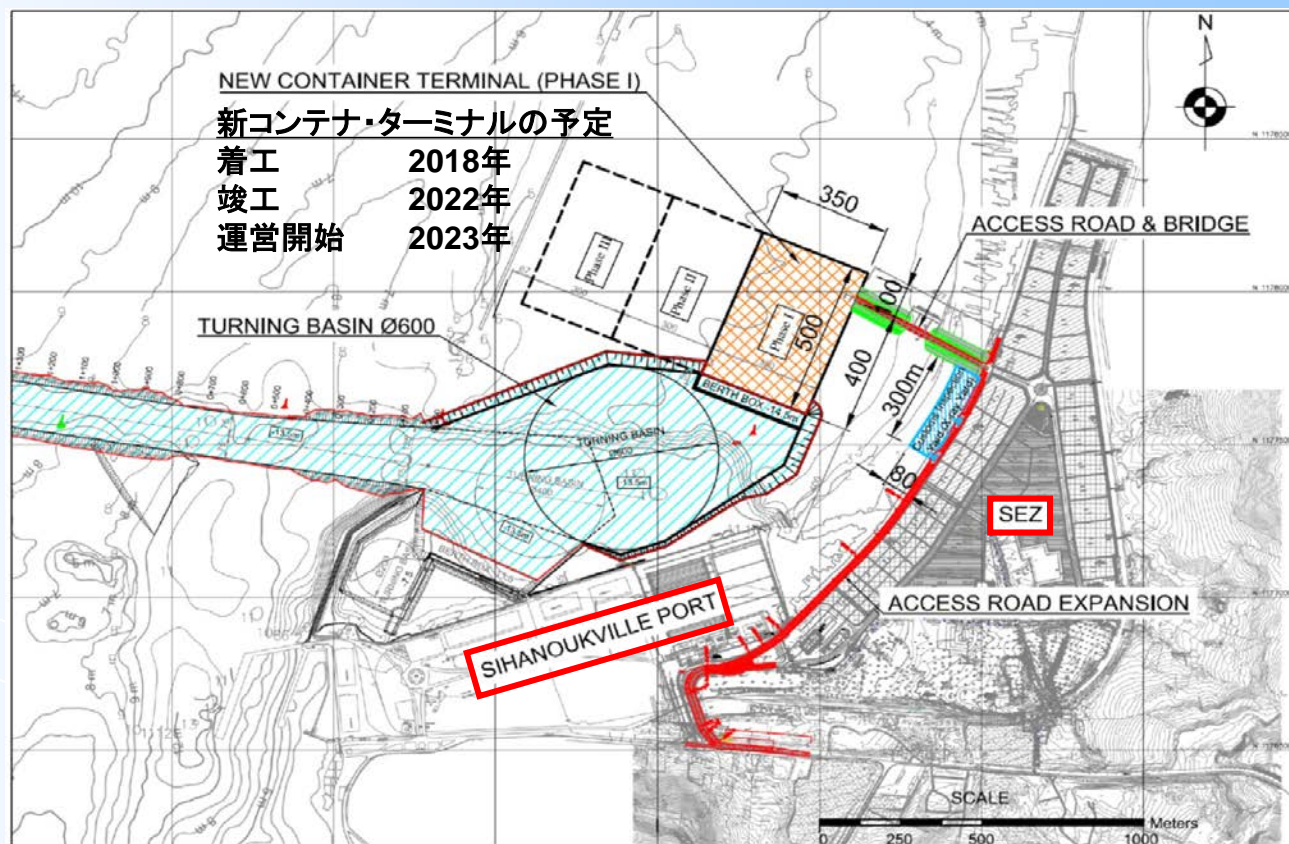
立地条件



シハヌークビル港経済特区 (SPSEZ)

隣接している港湾の概要

- カンボジア唯一の大型海港であり、更に多目的ターミナルの建設も予定しています。
- 在来貨物の荷役や客船用岸壁としての
Old Jetty
バース長290m、岸壁水深-9.0m
New Quay
バース長350m、岸壁水深-9.0m
Container Wharf
バース長400m、水深-10.0m
から構成されています。
- 貨物船では10,000重量トン級、タンカーでは15,000重量トン級の船舶の入港が可能。
- 5つの保管倉庫を整備しており、倉庫の総面積は36,000m²。



シハヌークビル港経済特区 (SPSEZ)

事業に関わる費用

No	項目	費用(税抜き)	備考
1	SPSEZの土地賃料	USD 55-65/m ² /50年	最長50年間、面積によって異なる
2	レンタル工場	USD 4.2/m ² /月	
3	Management Service	USD 1/m ² /年	
4	電気料金	USD 0.165/kWh	電力会社料金
5	水道料金	USD 0.40/m ³	水道会社価格\$0.50/m ³
6	下水道料金	USD 0.35/m ³	水道利用料の80%分課金
7	廃棄物処理料金	月額固定	内容と量によって異なる
8	Container Freight Station	USD 4.2/m ² /月	
9	事務所賃料(管理棟内)	USD 18/m ² /月	
10	賃貸住宅	USD 650/月	テラスハウス(8戸)
		USD 950/月	戸建て(4戸)
11	社員寮	USD 90/月/室	6人部屋(92室)

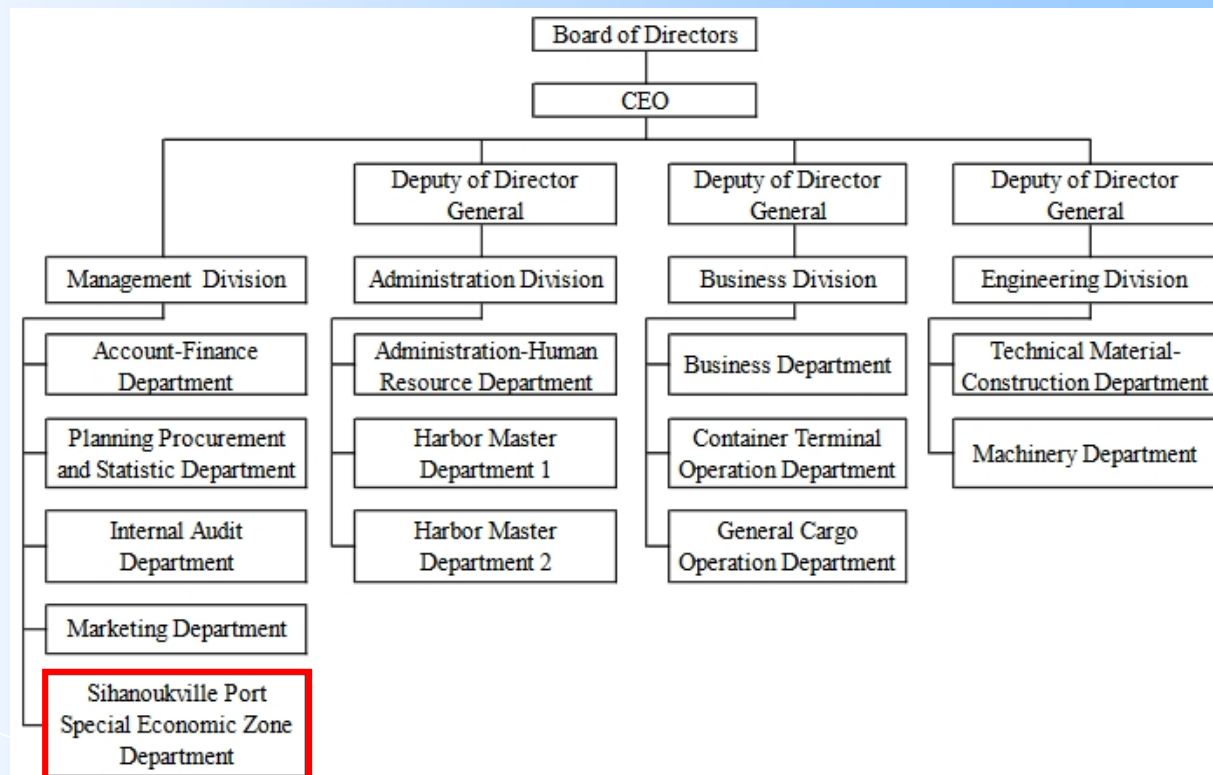
電力料金について

首相が電力料金の見直しを2015年に表明してから、毎年値下げを実施し、SPSEZの電力料金はプノンペン近郊(USD 0.167/kWh)よりも安価となっています。今後変電所から直接受電することで、更に安価な金額(予定: **USD 0.1386.kWh**)での提供を試みています。

シハヌークビル港経済特区 (SPSEZ)

運営企業の紹介

- シハヌークビル港湾公社 (PAS) は1960年に設立。
- 公共事業運輸省 (Ministry of Public Works and Transport; MPWT) の傘下。
- PAS全体の社員数は1,000人を超えています。
- JICAは、同社に技術協力を通じて、SEZのインフラ整備及びPASの運営能力強化を支援してきました。
- 2017年6月にPASが株式を上場し、JICAが全体の13.5%を取得しました (経済財務省75%)。



シハヌークビル港経済特区 (SPSEZ)

優位性と課題

【優位性】

- 港直結の立地
- JICAの追加的支援
- 良好な住環境

【課題】

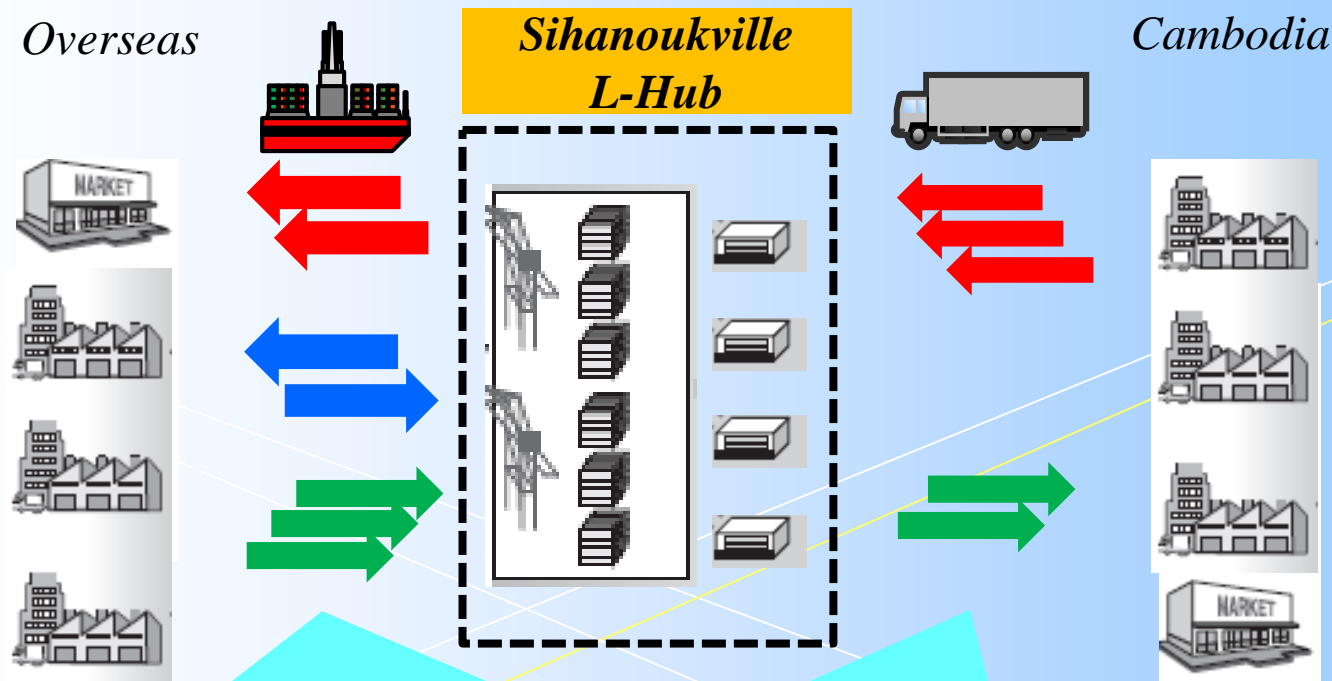
- ・管理運営の経験不足
- ・電力料金の低減
- ・人材育成

シハヌークビル港経済特区 (SPSEZ)

カンボジア政府
と協議中

来年度以降のリニューアルプラン

- ✓ 保税加工区機能を有したL-Hub構想を推進



カムコントロール、通関手続きを簡素化し、スピーディーでローコストな物流を実現。

シハヌークビル港経済特区 (SPSEZ)

来年度以降のリニューアルプラン

- 4月よりJICAアドバイザー派遣
 - ✓ 入居企業に対するサービス体制の強化

- 反汚職ユニットとのMOUを締結
 - ✓ 国内で2番目

- CFS、レンタル工場の建設支援、および運営の民間委託を検討
 - ✓ 日系物流会社等とのコラボレーションの可能性

- 物流ハブ化の政策変更
 - ✓ 国内初となる保税加工区の設置
 - ✓ 非居住者在庫の取り扱いを可能に

- JICA民間連携スキームの活用
 - ✓ 検討企業への進出調査、人材育成を支援

カンボジア政府
と協議中

シハヌークビル港経済特区 (SPSEZ)

L-Hub構想を生かしたビジネスモデルの可能性

- アセアン地域ハブとしてのシンガポール、マレーシアの物流倉庫の一部移管
 - 2023年の新コンテナターミナル開業による定期船増加
 - 保税機能
 - 国際VMI機能
- 物流加工センター・修理センター
 - 安価な人件費
 - 港直結の立地

その他、ご要望ありましたら、リニューアルプランに加えることも検討します。ご提案お待ちしております。



シハヌークビル港経済特区 (SPSEZ)

お問い合わせ先:

JICA担当者(日本語):

安原 裕人

Email: Yasuhara.Hiroto@jica.go.jp

PAS担当者(英語):

spsez@pas.gov.kh

1. Kong Sophea

email: kongsophea@pas.gov.kh

tel: +855-1698-9536

2. Keo Kimchrean

email: kimchrean.pas@gmail.com

tel: +855-1634-0333

ご清聴ありがとうございました



(2016年撮影、プノンペン)



(2018年撮影)



(2018年撮影)